

漢字対応応肩付キルセ事例

※第二期も同様

IV 源平争乱時代

かまた ひまろえめいしよまかぜき 鎌田兵衛名所 盃	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
かあやうた 娥歌かるた	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
へいけ にまこのしま 平家女護島	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
さつまのかみただのり 薩摩守忠度	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
しゆめのはんがらんもりひさ 主馬判官盛久	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
ささき せんじん 佐々木先陣	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
しゆつせかひきま 出世景清	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

IV 判官物

えぼし おり 烏帽子折	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
じゆうにだん 十二段	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
はらみとまわ 「孕常盤」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
げんじ れいぜいふし 「源氏冷泉節」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
つとのさぶらう 津戸三郎	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
ふたりのしずかたいなひさぐり 「寂静 胎内拵」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
よし の たたのふ 吉野忠信	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
みなものよしのつねしよきまよ 「源 義経将基経」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

V 鎌倉時代

けいせいしまばらかいるがつせん 「傾城島原蛙合戦」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
さいみよのしらのひやくにんじよらみろ 最明寺殿百人 上臈	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
ほんちよらうかんしよらう 本朝 用文章	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

V 曾我物

さかみにゆうどうせんびきのいぬ 「相模入道千疋犬」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
------------------------------	-----------------

VI 南北朝時代

だんせんせ がつ 団扇曾我	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
ひやくにちそ がつ 百日曾我	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
ほんりよらう せが 「本領 曾我」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
かぞうせが 「加増曾我」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
そが ななつ いろは 曾我七 以呂波	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
そが ご にんきようだい 曾我五人兄弟	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
おおいそのとらおさなものがたり 大磯虎 稚物語	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
そが おうきはつけい 「曾我扇八景」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
そが とら いしうす 「曾我虎が磨」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
そが かいけいぜん 「曾我会稽山」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
よ つぎせが 世継曾我	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

よしのみやこおんなくすのき 「吉野都 女楠」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
けんこうほらし ものみぐるま 「兼好法師物見車」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
つばんたいへい 「碁盤太平記」	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
によじんそくしんじよらうぶつき 女人即身成仏記	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
いまがわりよらうしゆん 今川了俊	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○